大江マチ子	取締役	平成20年６月19日～平成22年６月株主総会	—
近藤　龍夫	取締役	平成21年６月24日～平成22年６月株主総会	—
武藤　仁一	常勤監査役	平成19年６月21日～平成23年６月株主総会	—
須田　久節	監査役	平成20年６月19日～平成24年６月株主総会	—
横内　龍三	監査役	平成19年６月21日～平成23年６月株主総会	—
池田　和彌	監査役	平成19年６月21日～平成23年６月株主総会	—

⑶　社員数（平成21年４月１日現在）
7,469人

四国旅客鉄道株式会社平成20年度決算等に関する公告

平成 21 年８月 31 日

香川県高松市浜ノ町８番33号
四国旅客鉄道株式会社
代表取締役社長　松田　清宏

1　平成20年度の貸借対照表及び損益計算書の要旨

貸借対照表の要旨

（平成21年３月31日現在）　（単位：百万円）

資産の部		負債及び純資産の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	9,491	流動負債	22,686
固定資産	105,050	固定負債	44,737
経営安定基金資産	203,683	資本金等	256,946
		利益剰余金	△ 6,144
合計	318,226	合計	318,226

㈱１　有形固定資産の減価償却累計額　178,591百万円
２　１株当たりの当期損失　146,754円49銭

損益計算書の要旨

（平成20年４月１日から平成21年３月31日まで）
（単位：百万円）

科目	金額
営業収益	31,029
営業費	39,087
営業損失	8,057
営業外利益	8,552
経常利益	495
特別利益	2,181
特別損失	13,040
税引前当期純損失	10,363
法人税、住民税及び事業税	△ 90
当期純損失	10,272

㈱　営業外利益のうち、経営安定基金運用収益　7,889百万円

2　主たる事務所の所在地、ディスクロージャー担当部署及びその電話番号

⑴　主たる事務所の所在地　香川県高松市浜ノ町８番33号
⑵　ディスクロージャー担当部署　広報室
⑶　電話番号　087―825―1626

3　平成21年度の事業計画の概要

「安全の確保」が事業運営の根幹であり、全てに優先する最重要課題であるとの認識のもと、設備面での安全対策を継続して推進し、安全を最優先する企業風土の更なる醸成を図る。

また、鉄道運輸収入の確保に向けて、対本州輸送や漸減傾向が続く四国内輸送の需要喚起に向けた各種営業施策を展開するとともに、堅調に推移している定期利用の更なる拡大に向けて取り組む。

一方、コスト削減に向けて、大量退職時代に対応できる業務運営体制を構築するため、これまで推進してきた効率化施策の定着化に取り組むとともに、着実な技術継承を図る。また、長期的な視点から将来に向けた取り組みとして、ワンマン列車運行区間の拡大や乗務員業務の効率化など列車運行体制の抜本的な見直しの検討を進める。

輸送量の見通し		列車の運行量
輸送人員	輸送人キロ	列車キロ
46百万人	1,451百万人キロ	21百万キロ

㈱　上記の数値は、経済情勢の動向等により変動する場合がある。

4　平成20年度の事業報告の概要

最大の使命である「安全・安定輸送の提供」に努めるとともに、最重要課題である鉄道運輸収入の確保に向けた各種施策に積極的に取り組んできた。しかしながら、世界的に広がった金融不安等の影響で秋口から急激に景気が悪化し、旅行需要が急速に冷え込んだことなどを受け、鉄道運輸収入は前年度を大幅に下回った。

この結果、当期の営業収益は31,029百万円、営業損失は8,057百万円、経常利益は495百万円となり、これに投資有価証券等評価損などの特別損益等を加減した結果、当期純損失は10,272百万円となった。

5　国からの出資金及び補助金等の額（平成21年度予算）

鉄道防災事業費補助金70百万円、踏切保安設備整備費補助金９百万円、戦傷病者等無賃乗車船等負担金６百万円

6　関係会社一覧（平成21年３月31日現在）

会社名	出資額	出資比率
徳島ターミナルビル株式会社	3,600百万円	100%
株式会社ジェイアール四国ホテル開発	2,300百万円	100%
ジェイアール四国バス株式会社	740百万円	100%
四国キヨスク株式会社	614百万円	100%
よんてつ不動産株式会社	350百万円	100%
株式会社ステーションクリエイト香川	310百万円	100%
宇和島ステーション開発株式会社	200百万円	100%
株式会社めりけんや	136百万円	100%